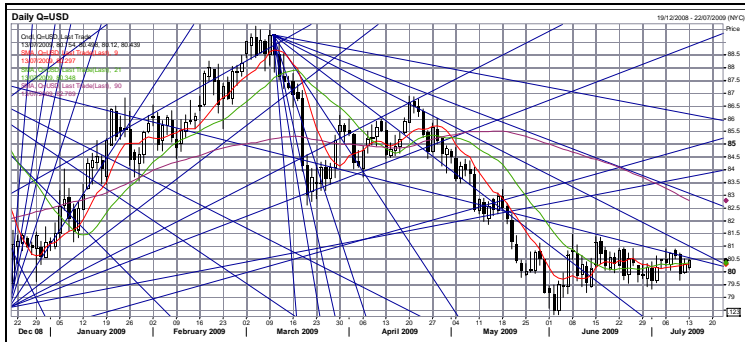


Weekly Report

by Fumio Mizutani

市況概況

リスク回避からリスク志向に再び変わる可能性！



為替市場ではポジション調整が今週も続きそうです。リスク回避志向の投資スタンスから、クロス円での損切りがドル/円での下落基調に結びついています。ドル全体の動きとしては、ドルインデックスの動きを参考にしましょう。左のチャートはドルインデックスです。全体的にドル買い戻しの動きのようですが、チャートの注目は注目すべき水準にきています。左端に隠れていますが11月21日高値88.25起点から伸びるギャンライン1x8(現在80.55)がレジスタンス(抵抗線)となっています。ポジション調整(損切り)が更に進むようだと、ドル買い戻しが進む可能性は否定できません。注目しましょう。

シカゴ先物市場の円のポジションが円ネット・ショートから円ネットロングに先週火曜日に転換し、その枚数も17,117枚と意外と初期の段階にしては多いと思います。円の確たる売り材料はないようですが、今後の動きに注目しましょう。ユーロ・ネットロング10,312枚、ポンド・ネットショート9,150枚、そして豪ドル・ネットロング31,886枚とこれらの通貨は前週からのポジション落しのように、特に目立った変化はないようです。

豪ドルの戻りが遅いように思います。中豪関係悪化懸念が根底にあるような気がします。中国石炭輸入業者の石炭買い付けキャンセル、中国の大手資源会社リオ・ティント4人の社員逮捕と関係悪化が続いています。中国頼みの豪経済にはネガティブな印象を投資家に植え付けます。0.72~0.77あたりがコストのシカゴ筋はもう一段の下落局面では利食いを進めるのではと推測します。しかし、今週も経済指標、米金融機関の決算発表の内容によっては流れが変わる可能性はあります。そろそろという相場観から豪ドル底値拾いのスタンスでよいのではと思います。今週は米金融機関の決算発表が相次ぎます。ゴールドマン・サックスを始めとして、投資環境は昨年よりも改善してきており、収益好転の数字が出る可能性があります。そして木曜日には世界経済の現在の牽引車である中国の第2四半期GDP(国内総生産)の発表が注目されます。予想は7.5%前年比となっています。予想通り良い数字が出ると悲観的な世界経済の見通しが好転して、再びリスク志向の投資スタンスに変わる可能性があります。注目しましょう。日本では解散7月21日、衆議院選挙8月30日が決まり、政局も混迷が予想されます。東京都議会選挙で民主党が勝ち、その勢いを持ち込みそうです。民主党政権が現実味を帯びてきます。経済が政治に振り回され景気回復のテンポが遅くなるようだと、円売りと反応すると読むのが自然のようです。

為替見通し

損切り相場の流れに注意！

ドル/円	90.00 ~ 94.00	ユーロ/ドル	1.3700 ~ 1.4100	ユーロ/円	126.00 ~ 131.00
ポンド/ドル	1.5800 ~ 1.6300	豪ドル/ドル	0.7500 ~ 0.8000	豪ドル/円	68.00 ~ 73.00

今週の注目イベント

米金融機関の決算発表と中国のGDP発表に注目！

<p>7/13(月) 米 6月財政収支: 予想 515 億ドル赤字(前回 1896 億ドル赤字)</p> <p>7/14(火) 英 6月消費者物価指数: 予想 0.6%前月比、0.3%前年比 (前回 0.6%, 1.8%) 独 7月 ZEW 景況感調査: 予想 45.5(前回 44.8) ユーロ圏 5月鉱工業生産: 予想 1.0%前年比(前回 -1.9%) 米 6月生産者物価指数: 予想 0.8%前月比、-5.2%前年比 (前回 0.2%, -5.0%) コア: 予想 0.1%前月比、2.9%前年比 (前回 -0.1%, 3.0%) 米 6月小売売上高: 予想 0.5%前月比(前回 0.5%) 除自動車: 予想 0.5%前月比(前回 0.5%) 米 ゴールドマン・サックス決算発表</p> <p>7/15(水) 日 日銀金融政策決定会合 政策金利発表 現行 0.10% 予想: 据え置き ユーロ圏 6月消費者物価指数・確報値: 予想 -0.1%前年比 (前回 0.0%)</p>	<p>米 6月消費者物価指数: 予想 0.6%前月比、-1.6%前年比 (前回 0.1%, -1.3%) コア: 予想 0.1%前月比、1.7%前年比(前回 0.1%, 1.8%)</p> <p>米 NY 連銀製造業景気指数: 予想 -5.00(前回 -9.41) 米 6月鉱工業生産: 予想 -0.6%前月比(前回 -1.1%) 米 6月設備稼働率: 予想 67.9%(前回 68.3%) 米 FOMC(米連邦公開市場委員会)議事録発表(6月23,24日分)</p> <p>7/16(木) 中国 第2四半期GDP: 予想 7.5%前年比(前回 6.1%) 米 新規失業保険申請件数: 予想 53.0 万件(前回 56.5 万件) 米 フィラデルフィア連銀景況指数: 予想 16(前回 15) 米 JP モルガン・チェース決算発表</p> <p>7/17(金) 日 5月景気動向指数・改定値(一致CI指数): 前回 86.9 日 5月景気動向指数・改定値(先行CI指数): 前回 77.0 ユーロ圏 5月貿易収支: 前回 27 億ユーロ赤字 米 6月住宅着工件数: 予想 53.0 万件(前回 53.2 万件) 米 6月建設許可件数: 予想 52.3 万件(前回 51.8 万件) 米 シティグループ、バンクオブアメリカ 決算発表</p>
---	---

本資料は情報の提供を目的としており、投資その他の行動を勧誘する目的で、作成したものではありません。投資に関する最終的決定は、お客様ご自身の判断で行ってください。各種資料の情報は、ODL JAPAN 株式会社が著作権を保有しています。無断の複製、インターネット上へのアップロード、転載、販売、改変その他著作権法の利用行為は重大な法律違反となります。著作権保有者は、本資料の内容に関する正確性、信頼性、安全性を保障いたしません。また、本資料の利用に起因するお客様の直接的または間接的損失および損害についても ODL JAPAN 株式会社及び情報提供元はこれに係わる一切の責任を負いかねますのでご了承ください。